

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公表番号】特表 2006-504839 (P2006-504839A)
【公表日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)
【年通号数】公開・登録公報 2006-006
【出願番号】特願 2004-549950 (P2004-549950)
【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 11 日 (2006.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 接着性の第 1 の端部分とプルタブを画定する非接着性の第 2 の端部分とを有する延伸性接着性ストリップと、

(b) 使用者が前記非接着性プルタブを手動で把持して前記接着性ストリップを基材から伸長剥離することを可能にする第 1 の位置と、前記非接着性プルタブを前記第 1 の位置からずらされた位置に維持するための移動された位置との間で繰り返して手動で移動できる、前記接着性ストリップと結合された形状保持部材と、を含む伸長剥離性接着テープ物品。

【請求項 2】

前記接着性の第 1 の端部分が、少なくとも一方が接着性である対向した第 1 および第 2 の主面を有し、前記非接着性プルタブが前記接着性ストリップの第 2 の端部分を含み、前記形状保持部材が、前記第 1 の端部分の接着面に付着され、前記非接着性プルタブと重なるように延在する、請求項 1 に記載の伸長剥離性接着テープ物品。

【請求項 3】

前記形状保持部材が金属である、請求項 1 に記載の伸長剥離性接着テープ物品。